

令和5年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

愛知県公共交通協議会

令和5年1月20日設置（愛知県バス対策協議会を改組）

地域間幹線系統 令和4年6月16日 確保維持計画策定

○令和5年度愛知県地域間幹線系統確保維持計画

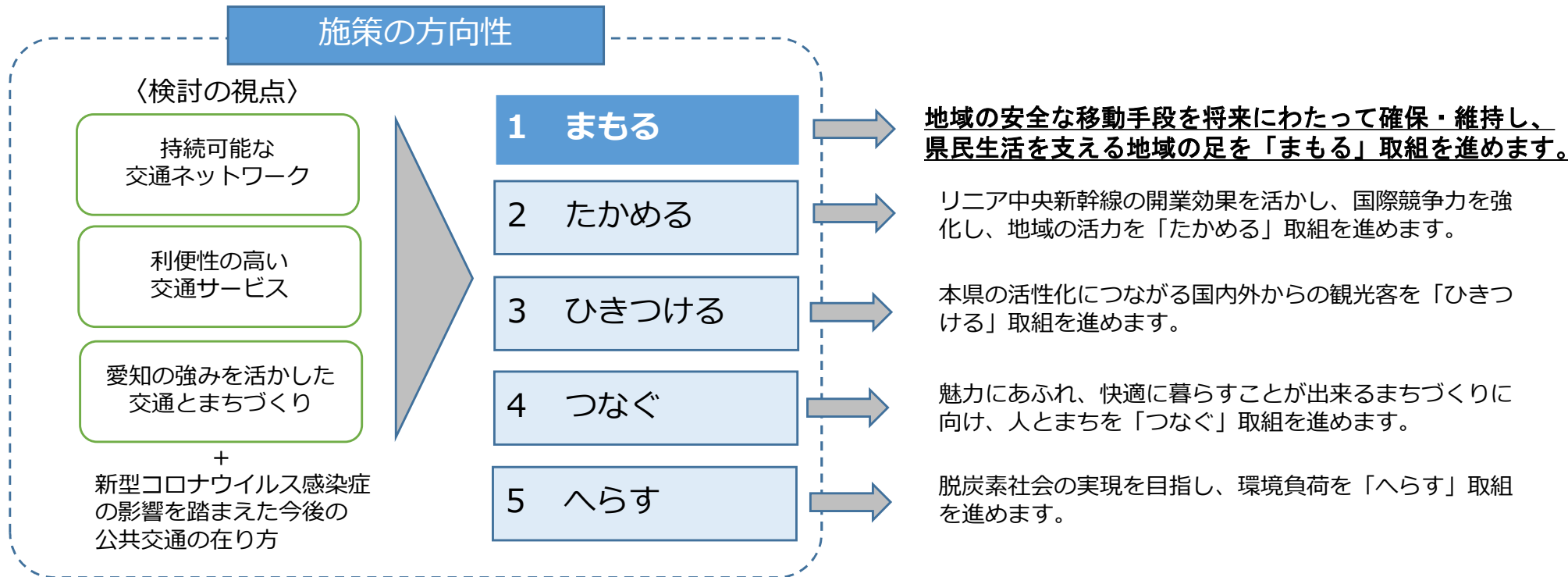
- ・ 愛知県バス対策協議会において、**64系統**を位置づけ。
(令和4年度と同じ)
- ・ 運営主体別では、**事業者が33系統、市町村が31系統**。
- ・ 交通圏別では、右表のとおり。

交通圏	系統数
名古屋	5
豊橋	8
岡崎	6
一宮	4
瀬戸・日進・豊明	10
東海・半田・大府・常滑・美浜	8
小牧・犬山・江南	3
津島・あま・弥富	4
刈谷・安城・碧南・西尾	13
豊田	13
新城	4

※複数交通圏に跨る系統は重複計上

【参考】あいち交通ビジョン（取組期間：R4～R8）との関連性

ビジョンでは、目指すべき姿を「危機を乗り越え、輝く未来へつなぐ あいちの交通 ～モビリティ先進県を目指して～」と掲げて、持続可能な交通ネットワークの構築に取り組んでいる。



○地域間幹線系統補助における要件緩和

令和4年度は、当初予算額を上限に下記の要件緩和を実施。（②、③は県独自）

- ①輸送量実績が15人を下回っても補助対象とする
- ②経常収益が経常費用の11/20未満の系統も補助対象とする
- ③密度カットは当初計画時のみなし運行回数で算定（従前は実績時の回数で算定）

上記要件緩和による結果

- ①・②により、30系統中7系統が補助対象外→補助対象に
- ③により、30系統中13系統に対して、補助額を増額
- ①～③により、総額43,063千円補助額を増額

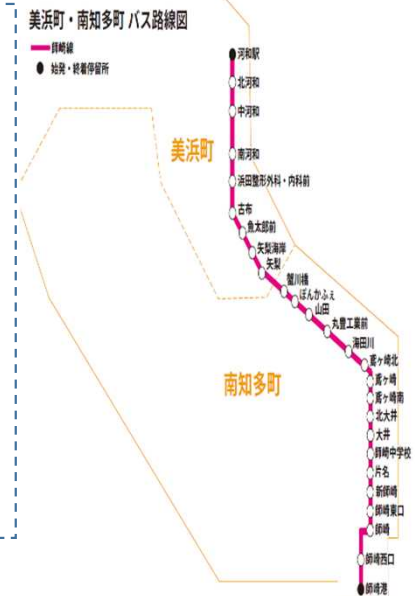
○生活交通確保に向けた協議

廃止申し出のあった系統について、対応方策等を協議。

師崎線（知多乗合(株)）

- 南知多町はコミュニティバス「海っ子バス」の路線再編を行い、知多バス師崎線が運行していた「師崎港」⇔「河和駅」間を、海っ子バスとして運行することを検討。
- 協議の結果、「師崎港」⇔「河和駅」間を路線再編後の「海っ子バス」が含めて運行することになったため、知多バス師崎線は「旅客の利便性を阻害しない」として廃止。

師崎線 師崎港～河和駅間



<その他公共交通活性化に関する主な取組>

○「あいち交通ビジョン」（取組期間：R4～R8）の策定

県の総合的な計画である「あいちビジョン2030」の個別計画として、2026年度までに取り組む施策の方向性を示すもの。

令和5年度末までに愛知県地域公共交通計画を策定することを取組指標の一つとして掲げている。

○MaaSの社会実装に向けた実証実験の実施

知多地域と名古屋東部丘陵地域を中心に、令和5年10月～令和6年2月において、スマホアプリ「マイルート」を使った実証実験を実施。

○「あいち交通ビジョン」モデル事業の実施

令和4年2月に策定した「あいち交通ビジョン」の具体的な施策展開を図るモデル事業として、日進市、東郷町、みよし市、名鉄バス、沿線施設と連携して、広域的・幹線的なバス路線の利用促進を図るため、「バスでお買い物キャンペーン」を開催



<地域間幹線系統の評価>

○評価指標の設定

把握しやすく取組の成果がイメージしやすい年間利用者数を目標に設定

○評価指標の達成状況等

《幹線系統全体の利用者数及び対前年推移別系統数》

R5年度	R4年度	増減率
5,198,707人	4,566,188人	13.9%増

利用者の増減区分	系統数
増加(105%~)	50(34)
横ばい(95~105%未満)	9(14)
小幅減(80~95%未満)	0(6)
大幅減(80%未満)	5(7)

※カッコ書きは前年の数値。

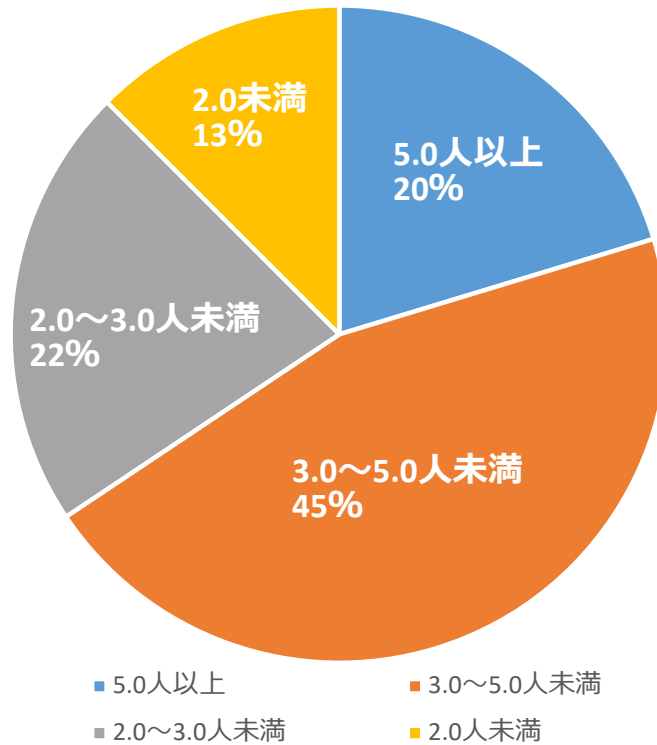
《目標実績別評価系統数》

A評価	増加(100%~)	49(37)
B評価	減少(75~100%未満)	9(21)
	減少(50~75%未満)	6(6)
C評価	半数減(50%未満)	0(0)

※カッコ書きは前年の数値。

- ◇前年度1.7%増だった幹線系統全体の利用者は、約13.9%増となり、全体の利用者数は一定の回復傾向が見られた。
- ◇ただし、路線ごとに見ると、増加が50系統、横ばいが9系統、大幅減が5系統となり、2極分化が進んでいる。
- ◇前年度に比べ利用者数が2割以上減少した5系統は東海・半田・大府・常滑・美浜交通圏に3系統、小牧・犬山・江南交通圏1系統、名古屋と小牧の交通圏を跨ぐ系統が1系統であった。小牧・犬山・江南交通圏と名古屋と小牧の交通圏を跨ぐ系統は年度途中で補助対象を外れたことによるものであり、東海・半田・大府・常滑・美浜交通圏のうち3系統はダイヤ改正の影響を受けたものである。

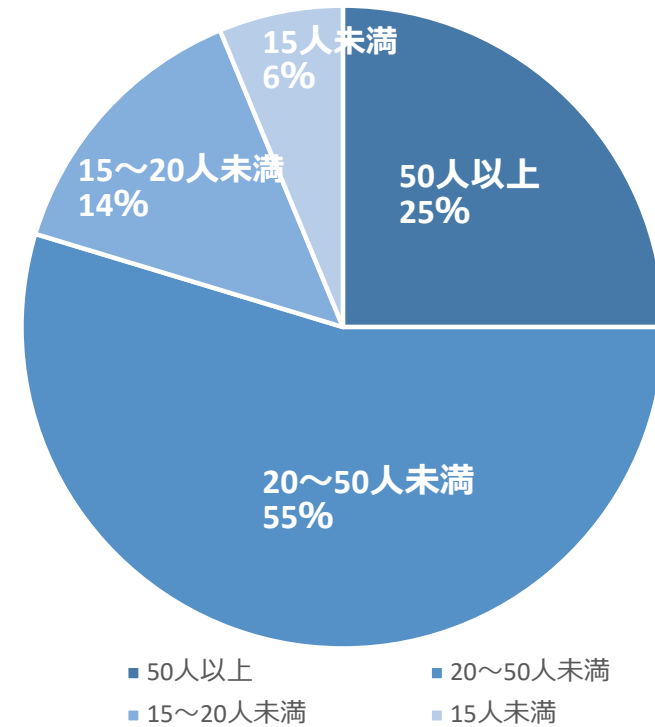
系統別平均乗車密度



系統別平均乗車密度	
5.0(人)以上	13(10)
3.0~5.0(人)未満	29(22)
2.0~3.0(人)未満	14(22)
2.0(人)未満	8(10)

※カッコ書きは前年の数値

系統別輸送量分布



系統別輸送量	
50(人/日)以上	16(8)
20~50(人/日)未満	35(36)
15~20(人/日)未満	9(14)
15(人/日)未満	4(6)

※カッコ書きは前年の数値

＜地域間幹線系統の確保・維持に関する課題＞

- 新型コロナウイルスの影響による利用者の減少から、回復が見られる系統が前年度と比較して増加している。
- 輸送実績がさらに減少した系統は、知多地域に多く、中部国際空港の国際線便数がコロナ禍前の45%程度の水準にしか回復しておらず、空港に勤務する人を中心とした人の移動が回復していないことが影響していると思われる。
- こうした系統については、コロナ禍により変化したライフスタイル・交通ニーズに対応した路線の再編などの検討が必要。

＜対応方針＞

◆愛知県地域公共交通計画の策定

- 令和5年1月20日に、「愛知県バス対策協議会」を改組し、地域交通法に基づく法定協議会として「愛知県公共交通協議会」を設置し、愛知県地域公共交通計画の策定を目指し、協議を進めている。
- 計画に位置付ける地域間幹線系統の検討を通して、県と市町村との役割分担の明確化を進める。

◆関係者間による情報共有・連携の促進

- 尾三地区広域公共交通推進会議、田口新城線活性化検討会、市町村地域公共交通会議など、様々な機会を通じて情報共有を図り、連携を促進する。
- 継続して、輸送実績が低い系統を中心に、運行事業者・沿線市町村との意見交換を実施し、並行路線も含めた路線網の見直しや利用促進策を検討。

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	あいち交通ビジョンの具体的な施策展開を図る取組を行ったことを確認	あいち交通ビジョンフォローアップ会議を行い、取り組みの実施状況の確認と今後の課題を共有した。	取り組みの実施状況と共有した課題を基に、引き続き今後の取り組みについて検討していく。
	路線廃止の申出に関して関係者間の協議をおこない、代替手段の確保につながったことを評価	関係者間の協議を行い、代替手段の確保に向けた調整を図った。	今後も必要に応じて、代替手段の確保に向けた調整を行う。
	新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の対策のため、公共交通を利用したお出かけの促進及び安心利用のポスターに運輸局と連携して周知に努めたことを評価	公共交通を利用したお出かけの促進及び安心利用のポスターに運輸局と連携して周知に努めた。	引き続き運輸局など関係機関と連携した取り組みを継続して実施していく。
	生活交通の確保維持に向け、沿線自治体、関係事業者との幹線系統等の情報共有及び連携した取組の実施。輸送実績が昨年度より減少した系統が多く存在する交通圏において一層の連携を深めることを期待	令和4年2月に策定した「あいち交通ビジョン」のモデル事業として、日進市、東郷町、みよし市、名鉄バス等と連携して、利用促進キャンペーンを実施した。	実施結果を取りまとめ分析、時期をとらえて市町村等へ報告。
	愛知県地域公共交通計画の策定に向け、具体的な策定方針を関係者に早めにオープンするとともに、県として確保維持、活性化していく公共交通ネットワークの検討をスケジュールに注意し進められるよう検討	愛知県地域公共交通協議会を設置し、「安心・安全な暮らしと、活発な経済活動を支える地域公共交通の維持充実」を目指し策定作業を進めている。	令和6年6月の策定を目途に、引き続き協議を行い、策定作業を進める。
前々回	新型コロナウイルスの影響により減収となっている地域間幹線系統について、確保維持に向けた支援を行ったことを確認	地域間幹線系統補助について、国の要件緩和を踏まえ、予算の範囲内で要件緩和を実施した。	新型コロナウイルスの影響を注視し、必要な支援策を検討
	輸送量の低下が顕著な地域間幹線系統について、生活交通確保に向けたヒアリングを行ったことを評価	県独自の事業評価票を用い、全ての地域間幹線系統について、路線の状況について関係者間の認識を共有した。	引き続き事業評価票を活用し、関係者の意思疎通を図る。
	維持が危ぶまれる地域間幹線系統について、利用促進や系統維持に向けた関係事業者や沿線自治体等と連携した取り組みを実施	令和4年2月に策定した「あいち交通ビジョン」のモデル事業として、半田市、常滑市と連携して、利用促進キャンペーンを実施	実施結果を取りまとめ分析、市町村向けセミナーで報告
	地域公共交通計画の策定に向けて市町村との役割分担を明確にし、持続的な地域公共交通ネットワークの構築に向けて検討	従来の愛知県バス対策協議会を改組し、活性化再生法上の法定協議会として、愛知県公共交通協議会を設置した。	計画策定に向けて協議を進める中で、市町村計画に委ねる系統の整理、時期について検討を進める。

※前回：令和5年2月15日、前々回：令和4年2月17日

<協議会の実施状況>

◆令和4年度第1回愛知県バス対策部会（書面開催）

日時：令和5年2月21日（火）

- 議題：①令和5年度愛知県地域間幹線系統確保維持計画の変更（知多乗合）
②令和5年度愛知県地域間幹線系統確保維持計画の変更（豊鉄バス）
③令和5年度愛知県地域間幹線系統確保維持計画の変更（あおい交通）
④令和5年度愛知県地域間幹線系統確保維持計画の変更（豊田市）
⑤令和5年度愛知県地域間幹線系統確保維持計画の変更（知立市）
⑥令和5年度愛知県地域間幹線系統確保維持計画の変更（みよし市）
⑦令和5年度愛知県地域間幹線系統確保維持計画の変更（東郷町）

◆令和4年度第2回バス対策部会（書面開催）

日時：令和5年3月13日（月）

- 議題：①令和5年度愛知県地域間幹線系統確保維持計画の変更について（名鉄バス）

◆令和5年度第1回バス対策部会

日時：令和5年6月23日（金）

- 議題：①令和6年度地域間幹線系統への位置付け路線について

◆令和5年度第2回バス対策部会

日時：令和5年8月25日（金）

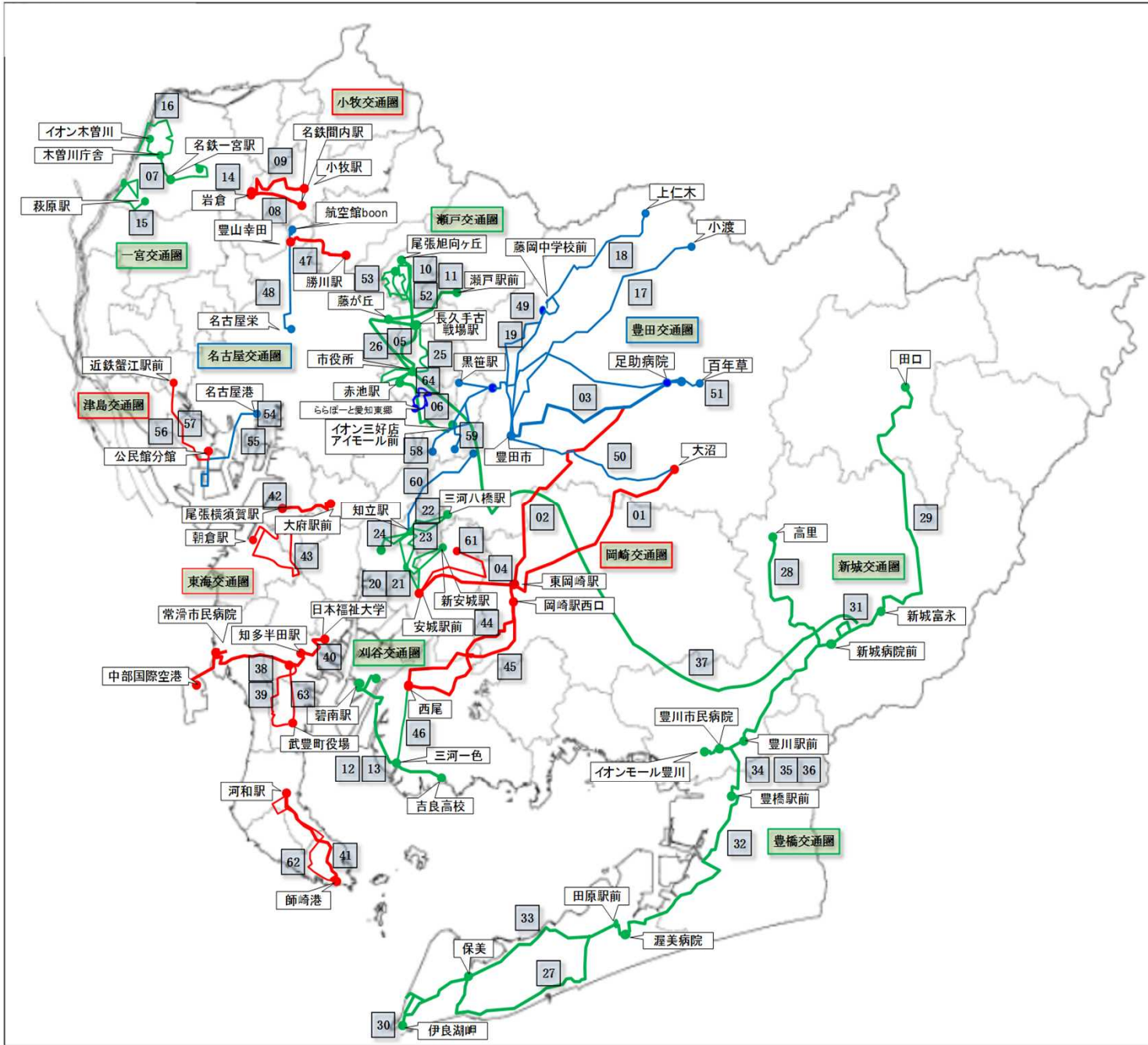
- 議題：①「令和5年10月1日付け廃止」申し出路線に係る対応について（知多乗合）

◆令和5年度第3回バス対策部会

日時：令和5年11月7日（火）

- 議題：①令和6年度愛知県地域間幹線系統確保維持計画の変更について（豊鉄バス）

令和5年度 愛知県 地域間幹線系統路線一覧



交通圏	番号	系統名	輸送量
01名古屋	48	タウンバス(南ルート)	31.2
	54	飛島公共交通バス(名港線①)	30.9
	55	飛島公共交通バス(名港線②)	17.1
02豊橋	27	伊良湖支線(福祉C掘切)	19.4
	30	伊良湖本線(渥美病院休眠村明神)	26.7
	31	新豊	43.2
	32	伊良湖本線(豊橋保美)	22.9
	33	伊良湖本線(渥美病院田原駅前保美)	27.6
	34	豊川(体育館前)	27.6
	35	豊川(イオン病院)	33.2
03岡崎	36	豊川(イオンモール豊川)	29.6
	01	大沼	17.3
	02	岡崎・足助	36.3
	04	岡崎・安城	25.8
04一宮	44	岡崎・西尾(青野)	61.9
	45	岡崎・西尾(西尾市民病院)	35.9
	61	あんくるバス(東部線)	31.0
	07	一宮・イオン木曾川	29.4
	14	iーバス(一宮コース)	29.4
05瀬戸・日進・豊明	15	iーバス(尾西南コース)	29.6
	16	iーバス(木曾川・北方コース)	13.2
	05	日進中央	66.0
	06	星ヶ丘・豊田	19.5
	10	愛知医科大学病院	20.8
	11	本地ヶ原	41.3
06東海・半田・大府・常滑・美浜	25	くるりんばす(梅森線)	12.8
	26	くるりんばす(五色園線)	18.8
	52	尾張旭市営バス(東ルート)	69.4
	53	尾張旭市営バス(西ルート)	89.0
	64	じゅんかい君(北コース)	40.1
	38	半田・常滑(A)	30.3
	39	半田・常滑(D)	6.8
	40	半田・常滑(N)	18.3
	41	師崎	26.9
	42	横須賀(A)	34.7
07小牧・犬山・江南	43	あいあいバス(北部循環コース)	25.4
	62	海っ子バス(豊浜線)	31.7
	63	ゆめころん(赤ルート)	53.6
	08	岩倉(間内)	21.6
	09	岩倉(小牧)	93.8
	47	豊山幸田・勝川	11.0
	08津島・あま・弥富	56	飛島公共交通バス(蟹江線①)
57		飛島公共交通バス(蟹江線②)	16.5
12		ふれんどバス①	42.0
13		ふれんどバス②	51.4
20		あんくるバス(西部線)	51.7
21		あんくるバス(作野線)	52.4
22		ミニバス(2コース)	17.8
09刈谷・安城・碧南・西尾	23	ミニバス(3コース)	60.4
	24	ミニバス(4コース)	20.5
	46	一色	45.7
	03	矢並	36.3
	17	おいでんバス(旭・豊田線)	29.4
	18	おいでんバス(小原・豊田線)	62.7
	19	おいでんバス(藤岡・豊田線(西中山経由))	45.6
	49	おいでんバス(藤岡・豊田線(加納経由))	42.9
10豊田	50	おいでんバス(下山・豊田線)	73.0
	51	おいでんバス(さなげ・足助線)	64.8
	58	さんさんバス(拠点連携線)	56.1
	59	さんさんバス(三好黒笹線)	54.1
	60	高岡ふれあいバス(路線②)	36.7
	28	作手	20.1
11新城	29	新城上平井田口	18.1
	37	新城名古屋藤が丘	20.0

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

協議会名：愛知県公共交通協議会 バス対策部会

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統）

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点（特記事項を含む）			
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	輸送量(人)			収支率(%)						
								R5計画	R5実績	平均乗車密度	運行回数	R4実績			R5実績		
01名古屋	豊山町	あおい交通(株)	48	タウンバス(南ルート) 航空館boon(豊山町)～名古屋栄(名古屋市)	・公共交通マップを主要施設や町外の関係機関等で配布、転入者への配布を実施 ・令和4年10月にバスロケーションシステムを更新	A	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A	目標48500 実績60518 達成率124.8% 新型コロナウイルスの感染 違法の位置づけが変更となり、利用者が回復している。	23.6	31.2	2.6	10.5	26.7	40.9	市町を跨いでの利用がほとんどを占め、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。豊山町長の名古屋市内への利用の他、名古屋市から豊山町への通勤での利用があると考えられる。	・広報やHP、町主催イベントや出前講座等の機会を通じて公共交通のPR ・利用者ニーズに対応した改善や見直し ・交通エコライフの取組促進を継続
	01名古屋 08津島・あま・弥富	飛鳥村	三重交通(株)	54	飛鳥公共交通バス(名港線①) 名古屋港～名古屋港(循環)	・運行事業者や関係自治体をはじめ、名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会等との協議 ・村HP、バス車両等での交通系ICカードの周知	A	計画通りの運行であった。	A	目標50000 実績53076 達成率106.2% 新型コロナの影響による	30.2	30.9	4.3	7.2	33.1	34.3	臨海地域の企業従業員及び企業への訪問者が利用客の大半を占め、最寄りの名古屋市内の各駅と飛鳥村とを結ぶ重要な広域的路線である。主に、名古屋市から飛鳥村への通勤手段として利用されている。
01名古屋 08津島・あま・弥富	飛鳥村	三重交通(株)	55	飛鳥公共交通バス(名港線②) 公民館分館～名古屋港	・運行事業者や関係自治体をはじめ、名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会等との協議 ・村HP、バス車両等での交通系ICカードの周知	A	計画通りの運行であった。	A	目標44000 実績44026 達成率100.1% 新型コロナの影響による	18.4	17.1	3.8	4.5	31.8	34.3	臨海地域の企業従業員及び企業への訪問者が利用客の大半を占め、最寄りの名古屋市内の各駅と飛鳥村とを結ぶ重要な広域的路線である。名古屋市から飛鳥村への通勤手段として利用されている。	・名古屋港駅付近の駐車場確保 ・増便、ダイヤ改正、名駅直行便の検討 ・公民館分館をハブ拠点とし、立地企業とを結ぶ「予約制の新たなシステム」等の導入検討 ・交通エコライフの取組促進
02豊橋	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	27	伊良湖支線(福祉C堀切) 渥美病院～保美	・技能実習生を対象とした多言語チラシの作成。 ・市内高校生への通学定期券の購入助成を実施 ・利用促進パンフレットの作成、配布	A	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A	目標43048 実績45209 達成率105.0% 定期外利用者が増加した	17.8	19.4	2.4	8.0	25.3	30.2	旧町を跨いでの利用が利用者のほとんどを占め、広域的な路線の役割を果たしている。起点にある渥美病院への通院や田原駅への鉄道利用者や沿線高校への通学利用者が大部分と考えられる。日中は高齢者の渥美病院等への通院や外国人住民の田原市街地での買い物で利用されている。	・企画切符の作成 ・多言語チラシや利用促進パンフレットの作成、配布 ・令和6年度末に導入予定の交通系ICカードのPR ・市内高校生への通学定期券の購入助成を継続 ・中・高校生を対象としたパンフレット配布
02豊橋	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	30	伊良湖本線(渥美病院休暇村明神) 渥美病院～伊良湖畔	・技能実習生を対象とした多言語チラシの作成 ・市内高校生への通学定期券の購入助成を実施 ・利用促進パンフレットの作成、配布	A	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	B2	目標83119 実績60792 達成率73.1% 定期利用者が減少した。	31.5	26.7	2.6	10.3	32.1	31.9	旧町を跨いでの利用が利用者のほとんどを占め、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。起点にある渥美病院への通院や田原駅への鉄道利用者や沿線高校への通学利用者が大部分と考えられる。日中は高齢者の渥美病院等への通院や外国人住民の田原市街地での買い物で利用されている。	・企画切符の作成 ・技能実習生を対象とした多言語チラシや利用促進パンフレットの作成、配布 ・令和6年度末に導入予定の交通系ICカードのPR ・市内高校生への通学定期券の購入助成を継続 ・中学生、高校生を対象とした利用促進事業(パンフレット配布等)を実施

①補助対象事業者等		②事業概要		③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点（特記事項を含む）				
						【計画目標指標：利用者数】		輸送量(人)		収支率(%)							
						A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず		R5 計画	R5 実績	平均 乗車 密度	運行 回数			R4 実績	R5 実績		
交通圏	02豊橋 11新城	31	新豊	豊橋駅前 ～ 新城富永	・大型商業施設のオープンに合わせ、路線の延伸と利用実態に合わせたダイヤ改正を実施 ・主要施設に新豊線・豊川線の時刻表（渋滞対策ダイヤを含む）を配布 ・中心市街地での公共交通イベントや鉄道及びバスを活用したウォーキングイベントの実施 ・新都市バスマップに新豊線の時刻表を掲載し、配布 ・「マイバス時刻表」を継続して実施	A	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A	目標155199 実績165134 達成率106.4% 定期外利用者が増加した。	34.7	43.2	4.6	9.2	32.0	43.5	市を跨いでの利用が利用者の約17.7%を占め、広域的な路線の役割を果たしている。新都市から乗り換えなしで豊川市民病院や大型商業施設へ行くことができる路線であるため、豊橋市、豊川市相互間の通勤利用者、大型商業施設等への買い物や豊川市民病院への通勤利用者が大部分と考えられる。	・令和6年度末に導入予定の交通系ICカードのPR ・MaaS推進によるデジタル環境の充実の取り組みを実施 ・沿線市、運行事業者と協力し、継続した公共交通利用促進 ・市内のSバス路線見直し時に、乗り継ぎしやすい接続となるよう考慮
		32	伊良湖本線 (豊橋保美)	豊橋駅前 ～ 保美	・沿線市と協力し、技能実習生を対象とした多言語チラシの作成 ・中心市街地での公共交通イベントや鉄道・バスを活用したウォーキングイベントの実施	A	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	B1	目標81781 実績73229 達成率89.5% 前年より利用者数は増加しており、通院や買い物客が回復傾向にあるが、目標未達となった。	23.2	22.9	2.9	7.9	28.5	32.1	旧町を跨いでの利用が利用者のほとんどを占め、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、起点にある渥美病院への通院や田原駅への鉄道利用者や沿線高校への通学利用者が大部分と考えられるほか、主に豊橋市内で完結する通勤、買い物、通院などの移動手段となっている。日中は高齢者の渥美病院等への通院や外国人住民の田原市街地での買い物で利用されている。	・企画切符の作成 ・技能実習生を対象とした多言語チラシや利用促進パンフレットの作成、配布 ・令和6年度末に導入予定の交通系ICカードのPR ・MaaS推進によるデジタル環境の充実 ・市内高校生への通学定期券の購入助成を実施 ・高校生を対象とした利用促進事業（パンフレット配布等）を実施
		33	伊良湖本線 (渥美病院田原駅前 保美)	渥美病院 ～ 保美	・技能実習生を対象とした多言語チラシの作成。 ・市内高校生への通学定期券の購入助成を実施 ・利用促進パンフレットの作成、配布	A	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	B1	目標66922 実績56637 達成率84.6% 学生が、帰宅時に並行する他系統に乗り換えた影響により減少した。	34.3	27.6	4.0	6.9	52.0	53.5	旧町を跨いでの利用が利用者の多くを占め、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、起点にある渥美病院への通院や田原駅への鉄道利用者や、沿線高校への通学利用者が大部分と考えられる。日中は高齢者の渥美病院等への通院や外国人住民の田原市街地での買い物で利用されている。	・企画切符の作成 ・技能実習生を対象とした多言語チラシや利用促進パンフレットの作成、配布 ・令和6年度末に導入予定の交通系ICカードのPR ・市内高校生への通学定期券の購入助成を実施 ・高校生を対象とした利用促進事業（パンフレット配布等）を実施
		34	豊川 (体育館前)	豊橋駅前 ～ 豊川体育館前	・大型商業施設のオープンに合わせ、路線の延伸と利用実態に合わせたダイヤ改正を実施 ・市内の主要施設に新豊線・豊川線の時刻表（渋滞対策ダイヤを含む）を配布 ・中心市街地での公共交通イベントや鉄道・バスを活用したウォーキングイベントの実施	A	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A	目標32962 実績54744 達成率166.1% 定期外利用者が増加した。	15.0	27.6	4.6	6.0	47.9	78.3	市を跨いでの利用が利用者の約3割を占め、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、豊橋市、豊川市相互間の通勤利用者が大部分と考えられ、その他にも豊橋市・豊川市相互間への買い物、通院などの移動手段となっている。	・令和6年度末に導入予定の交通系ICカードのPR ・MaaS推進によるデジタル環境の充実
		35	豊川 (イオン病院)	豊橋駅前 ～豊川市民病院 ～イオンモール豊川 ～豊川駅前	令和5年3月に大型商業施設のオープンに合わせ、路線の延伸と利用実態に合わせたダイヤ改正を実施 豊川市と連携し市内の主要施設に新豊線・豊川線の時刻表（渋滞対策ダイヤを含む）を配布 中心市街地での公共交通イベントや鉄道及びバスを活用したウォーキングイベントの実施	A	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A	目標101565 実績103008 達成率101.4% 定期外利用者が増加した	31.8	33.2	3.2	10.4	45.9	50.6	市を跨いでの利用が利用者の約3割を占め、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、豊橋市、豊川市相互間の通勤利用者が大部分と考えられ、その他にも豊橋市・豊川市相互間への買い物、通院などの移動手段となっている。	・令和6年度末に導入予定の交通系ICカードのPR ・MaaS推進によるデジタル環境の充実
		36	豊川 (イオンモール豊川)	豊橋駅前 ～ イオンモール豊川	大型商業施設のオープンに合わせ、路線の延伸と利用実態に合わせたダイヤ改正を実施 市内の主要施設に新豊線・豊川線の時刻表（渋滞対策ダイヤを含む）を配布 中心市街地での公共交通イベントや鉄道及びバスを活用したウォーキングイベントの実施	A	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A	目標60068 実績61855 達成率103.0% 定期外利用者が増加した	26.2	29.6	4.3	6.9	48.6	68.2	市を跨いでの利用が利用者の約3割を占め、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、豊橋市、豊川市相互間の通勤利用者が大部分と考えられ、その他にも豊橋市・豊川市相互間への買い物、通院などの移動手段となっている。	令和6年度末に導入予定の交通系ICカードのPR MaaS推進によるデジタル環境の充実

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況					⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点（特記事項を含む）				
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】		輸送量(人)		収支率(%)						
							A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	R5計画	R5実績	平均乗車密度	運行回数			R4実績	R5実績		
03岡崎 10豊田	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	1 大沼	名鉄東岡崎駅 ～ 岡崎北高前 ～ 大沼	HP、CentXなどのスマートフォンで時刻検索システム提供 バスロケーションシステムの提供 コンテンツプロバイダへのデータ提供 岡崎市公共交通マップの作成・配布、近隣市町のバスマップの配布	A	異常気象に伴う大雨により、山間部の道路陥没および台風の影響により23回の運休があったが、おおよそ、計画どおりの運行が実施された。	A	目標40469 実績53928 達成率133.3%	19.6	17.3	3.1	5.6	29.0	32.1	市を跨ぐ利用者の内訳は、通勤3.4%、通学6.9%、ゴ-4F・J&M-バスを利用する高齢者13.8%、現金、ICSFの定期外75.9%となっている。東岡崎駅の利用者、中心市街地への買物等のための利用者が大部分と考えられる。市町村を跨いでの利用者数は、18.6%になった（昨年度比較5.6%増）。2年連続で増えており、豊田から岡崎市への通学の手段としての役割が徐々に大きくなっている。	・HP、スマートフォンでの路線・時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの情報提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券ゴールド・シルバーバスのPR ・岡崎市公共交通マップの作成・配布 ・豊田市バスマップ、みちなびとよたに路線情報を掲載
03岡崎 10豊田	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	2 岡崎・足助	名鉄東岡崎駅 ～ 細川 ～ 足助	HP、CentXなどのスマートフォンで時刻検索システム提供 バスロケーションシステムの提供 コンテンツプロバイダへのデータ提供 岡崎市公共交通マップの作成・配布、近隣市町のバスマップの配布	A	雨量規制による通行止、台風影響により14本の運休となったが、それ以外は、所定の確保計画どおりの運行が実施された。	A	目標114581 実績145694 達成率127.2%	28.4	36.3	4.6	8.0	37.6	44.9	西地区を跨ぐ利用者の内訳は、通勤定期22.6%、通学定期16.1%、ゴ-4F・J&M-バスを利用する高齢者29.0%、現金、ICSFの定期外32.3%、路線自体の利用者数は増加したが、市町村を跨ぐ利用者は減少しており、岡崎市内での利用者が大部分と考えられる。また、普風堂への観光目的の利用も多い。市町村を跨いでの利用者は通学利用が多いことから、豊田市から岡崎市への通学の手段として重要な役割を果たしているといえる。	・HP、スマートフォンでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券ゴールド・シルバーバスのPR ・岡崎市公共交通マップの作成・配布 ・豊田市バスマップ、みちなびとよたに路線情報を掲載
03岡崎 09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	4 岡崎・安城	名鉄東岡崎駅 ～ 矢作橋 ～ JR安城駅	HP、CentXなどのスマートフォンで時刻検索システム提供 バスロケーションシステムの提供 コンテンツプロバイダへのデータ提供 岡崎市公共交通マップの作成・配布	A	線状降水帯による水害、台風影響により21本の運休となったが、それ以外は、所定の確保計画どおりの運行が実施された。	A	目標38253 実績61390 達成率160.5%	25.8	25.8	2.1	12.3	24.7	33.2	西地区を跨ぐ利用者の内訳は、通勤定期7.8%、ゴ-4F・J&M-バスを利用する高齢者32.8%、現金、ICSFの定期外59.4%。ゴ-4F・J&M-バスの利用者が増加しており、市町村を跨ぐ利用も同時に増加している。高齢者による東岡崎駅や安城駅、沿線にある病院、中心市街地への利用が大部分と考えられる。直近の利用状況調査では通勤利用の割合が最も高い状況であった。	・HP、スマートフォンでの路線・時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの情報提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券ゴールド・シルバーバスのPR ・岡崎市公共交通マップの作成・配布 ・時刻表、バスマップ、公共交通活用ガイド冊子等の掲載 ・集客が見込まれる施設へのアクセスが可能となる路線変更を検討
03岡崎 09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄東部交通(株)	名鉄東部交通(株)	44 岡崎・西尾(青野)	東岡崎(藤田医大) ～ 下青野 ～ 西尾	・令和5年4月1日にダイヤ改正を実施 ・車内美化や換気を行うとともに、定時運転確保や安全運転 ・岡崎市公共交通マップの作成・配布	A	8月15日に台風による運休はありましたが、それ以外の運休等はありませんでした。	A	目標130810 実績159494 達成率121.9%	50.5	61.9	3.8	16.3	45.1	53.1	東岡崎からJR岡崎駅を経由してあるいは藤田医大からJR岡崎駅を経由して西尾市中心部へ至る市街を跨ぐ路線であり、地域住民の日常生活における交通手段を確保している。岡崎市内から西尾市への通勤・通学等の移動手段として利用されている。岡崎方面への通勤・通学利用や、岡崎市の沿線商業施設への利用など広域的な利用も見られる。	・道路状況の把握に努め、定時運行確保する ・藤田医大系統、東岡崎系統の両方についてダイヤ等の検討 ・岡崎市公共交通マップの作成・配布等、取組みを継続 ・公共交通利用講座で路線をPR ・運行利便性向上について、運行主体、関係市と継続して協議
03岡崎 09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄東部交通(株)	名鉄東部交通(株)	45 岡崎・西尾(西尾市民病院)	岡崎駅西口 ～ 西尾市民病院 ～ 西尾	・令和5年4月1日にダイヤ改正を実施 ・車内美化や換気を行うとともに、定時運転確保や安全運転 ・岡崎市公共交通マップの作成・配布	A	8月15日に台風による運休はありましたが、それ以外の運休等はありませんでした。	A	目標76291 実績89897 達成率117.8%	30.1	35.9	3.1	11.6	51.7	51.7	JR岡崎駅と西尾市中心部を結ぶ市街を跨ぐ路線であり、沿線には藤田医大病院、西尾市民病院、西尾東高校があり通院、通学、通院の足として地域住民の移動手段を確保している。岡崎市の沿線商業施設への利用など広域的な利用も見られる。	・道路状況の把握に努め、定時運行確保する ・藤田医大系統、若松系統の両方についてダイヤ等の検討 ・岡崎市公共交通マップの作成・配布等、取組みを継続 ・デマンド型乗合タクシーとの乗り継ぎ利便性や乗換対策等の安全性の周知 ・公共交通利用講座などで路線をPR ・運行利便性向上について、運行主体、関係市と協議
03岡崎 09刈谷・安城・碧南・西尾	安城市	東伸運輸(株)	61 あんくるバス(東部線)	北部福祉センター ～ JR安城駅 ～ 北部福祉センター	・地域公共交通計画を策定 ・保護者も対象とした夏休み小学生無料乗車キャンペーンを実施 ・公共交通活用ガイドの充実・情報発信 ・岡崎市公共交通マップの作成・配布 ・外国版の時刻表、マップの作製 ・バスロケーションシステムによる情報提供 ・多客期に主要バスへのバス案内人の配置	A	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A	目標25750 実績27346 達成率106.2%	24.8	31.0	4.5	6.9	13.1	19.6	市を跨ぐ利用者は221人/月と想定され、広域的な路線として役割を果たしている。利用者は名鉄本線へ乗換し、飲食・娯楽等のためお出かけ利用者が多い。安城市内の病院の利用やJR安城駅の通勤・通学に利用されている。	・バスロケーションシステムによる利便性向上 ・観光施策等と連携した利用促進 ・まちかど講座や勉強会を通じ、公共交通に対する意識の醸成 ・岡崎市公共交通マップの作成・配布

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況					⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点（特記事項を含む）			
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	輸送量(人)			収支率(%)					
								R5計画	R5実績	平均乗車密度	運行回数			R4実績	R5実績	
04一宮	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	7 一宮・イオン木曽川	一宮駅 ～ 木曽川庁舎 ～ イオンモール木曽川	・HP、スマートフォンでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・コスタバス内のりば案内の更新 ・バスマップの更新・配布 ・「富おでかけバス手形」の発売 ・期間限定でシルバーパス65・ユース40・学生70の購入補助を実施	台風7号の影響により12本の運休となったが、それ以外は所定の確保計画どおりの運行が実施されている。	A	目標57687 実績68720 達成率119.1%	26.2	29.4	2.8	10.5	35.3	41.1	両地区を跨ぐ利用者の内訳は、ゴールド・シルバーパスを利用する高齢者17.3%、現金、ICSFの定期外82.7%。一宮駅の利用者、大型商業施設への買物のための利用者が大部分と考えられる。旧木曽川町住民や沿線住民の一宮駅まで駅周辺利用、その他地区住民のイオン木曽川利用が考えられる。	・HP、スマートフォンでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者や小学生向けにバスの乗り方教室等PR ・バスマップの配布 ・「富おでかけバス手形」の発行
04一宮	一宮市	名鉄バス(株)	14 i-バス (一宮コース)	木曽川庁舎 ～ 一宮駅 ～ 市民病院	・一宮駅構内バスのりば案内やバスマップの更新・配布 ・企画切符の継続発売 ・GTFSデータの最新情報管理 ・予約制乗合タクシー（i-バスミニ）の継続運行によるバスの利便性の向上	台風7号の影響により14本の運休となったが、それ以外は所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A	目標66242 実績76459 達成率115.4%	26.7	29.4	3.2	10.3	31.3	33.4	市を跨ぐ利用者は1,851人/月と推定され、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、通院及び一宮駅への利用が大部分と考えられる。	・バスマップの配布 ・1日乗車券等企画切符発行の継続 ・高齢者や小学生向けにバスの乗り方教室等PR ・バスを利用した施設案内チラシ等の充実
04一宮	一宮市	名鉄バス(株)	15 i-バス (尾西南コース)	萩原駅 ～ 尾西記念病院 ～ 萩原駅	・バスマップの更新・配布 ・企画切符の継続発売 ・GTFSデータの最新情報管理 ・予約制乗合タクシー（i-バスミニ）の継続運行によるバスの利便性の向上	台風7号の影響により4本の運休となったが、それ以外は所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A	目標34863 実績32398 達成率92.9%	29.6	29.6	3.8	7.8	11.8	11.8	市を跨ぐ利用者は、433人/月と推定され、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、通院、萩原駅や公共施設への利用が大部分と考えられる。	・バスマップの配布 ・1日乗車券等企画切符発行の継続 ・高齢者向け等バスの乗り方教室等PR ・バスを利用した施設案内チラシ等の充実
04一宮	一宮市	名鉄バス(株)	16 i-バス (木曽川・北方コース)	木曽川庁舎 ～ 木曽川市民病院 ～ 木曽川庁舎	・バスマップの更新・配布 ・企画切符の継続発売 ・GTFSデータの最新情報管理 ・予約制乗合タクシー（i-バスミニ）の継続運行によるバスの利便性の向上	台風7号の影響により6本の運休となったが、それ以外は所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A	目標16126 実績14429 達成率89.5%	12.3	13.2	1.5	8.8	8.0	8.9	市を跨ぐ利用者は、246人/月と推定され、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、通院、大型ショッピングセンターへの買い物、鉄道駅の利用、他のバスコースへの乗継ぎが大部分と考えられる。	・バスマップの配布 ・1日乗車券等企画切符発行の継続 ・高齢者向け等バスの乗り方教室等PR ・バスを利用した施設案内チラシ等の充実 ・住民懇談会の実施 ・バス路線やダイヤの見直し検討
05瀬戸・日進・豊明	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	5 日進中央	赤池駅 ～ 日進市役所 ～ 長久手古戦場駅	・HP、スマートフォンでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・市HPでの本路線の周知 ・路線図、時刻表を配布 ・市イベント等でのチラシ配布	所定の確保計画どおりの運行が実施されている。	A	目標116102 実績130695 達成率112.6%	57.0	66.0	4.4	15.0	56.9	59.4	両地区を跨ぐ利用者の内訳は、通勤定期7.1%、通学定期8.1%、現金、ICSFの定期外84.8%。市を跨ぐ利用は僅差の減少だが、赤池駅の利用が増加しており、日進市内の利用が増えている。日進市南西部の赤池駅と北部の長久手古戦場駅を結び、住民の南北移動の軸となっている。交通結節点を結ぶ他、コミュニティバスとも接続し、幹線として重要な役割を担う路線である。	・HP、スマートフォンでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者や小学生向けにバスの乗り方教室等PR ・バスを利用した施設案内チラシ等の充実 ・市HP、広報等を用い、本路線のPRの充実 ・赤池駅、大型商業施設開業後の利用状況等について、沿線市町と情報共有
05瀬戸・日進・豊明	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	6 星ヶ丘・豊田	赤池駅 ～ 御岳 ～ イオン三好店アイモール前	・HP、スマートフォンでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・時刻表を市役所窓口等で配布 ・近隣市町が実施した本路線利用促進イベントの周知 ・東郷町、名鉄バス及びみよし市が連携してバス利用促進イベント（車両展示、乗車体験等）を実施	台風7号の影響により6本の運休となったが、それ以外は所定の確保計画どおりの運行が実施されている。	A	目標23021 実績38412 達成率166.9%	26.0	19.5	3.0	6.5	36.6	41.0	市町域を跨ぐ内訳は、通勤31.0%、通学5.0%、ゴールド・シルバーパスを利用する高齢者6.0%、現金、ICSFの定期外58.0%。通勤利用者が前年より大幅に増加しており、市町を跨ぐ利用者も増加している。東郷町内への通勤利用が増え、また、ゴールド・シルバーパス利用者も増加しており、赤池駅・イオン三好への利用が考えられる。大型商業施設への買い物移動需要を支える他、赤池駅に接続することにより、広域移動を確保する重要な路線である。	・HP、スマートフォンでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者や小学生向けにバスの乗り方教室等PR ・バスを利用した施設案内チラシ等の充実 ・市HP、広報等を用い、本路線のPRの充実 ・ショッピングセンター内にバスマップを設置 ・商業施設や近隣市と連携してバス利用促進イベントや周知啓発を実施

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況					⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点（特記事項を含む）		
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	輸送量(人)			収支率(%)				
								R5計画	R5実績	平均乗車密度	運行回数			R4実績	R5実績
05瀬戸・日進・豊明	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	10 愛知医科大学病院	長久手古戦場駅 ～ 愛知医科大学病院 ～ 尾張旭向ヶ丘	・HP、スマートフォンでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・市主催イベントや市内商業施設等ルートマップや時刻表を配布	A 台風19号の影響により1本の運休となったが、それ以外は所定の確保計画どおりの運行が実施されている。	A 目標46149 実績56756 達成率123.0% 新型コロナウイルスの影響が希薄になり、通勤・通学利用者が増加した。	16.2	20.8	1.8	11.6	23.6	28.3	両地区を跨ぐ利用者の内訳は、通勤定期8.3%、通学定期12.0%、現金、ICSFの定期外79.6%。定期外の利用者が増加しており、尾張旭駅から長久手高校・愛知医科大学病院への利用が多い。尾張旭市駅と長久手古戦場駅を結ぶ路線であり、住民の南北への移動の軸となっている。交通結節点同士を結んでおり、幹線として重要な役割を担う路線である。 ・公共交通利用促進のためにイベントの開催・情報紙の発行	・HP、スマートフォンでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券ゴールド・シルバーバスのPR ・HP、市広報、市主催のイベントでの利用周知 ・アンケートや市民ワークショップを踏まえ、地域公共交通計画策定に向けた検討
05瀬戸・日進・豊明	日進市	名鉄バス(株)	25 くるりんばす(梅森線)	日進市役所 ～ 東名古屋病院 ～ 日進市役所	・公共交通会議内に設置する検討部会や地域での意見交換会等を通じ、路線改正案について検討を実施 ・検討した改正案について、令和6年度中の改正を予定	A 事業計画とおりの運行回数が確保されている。	B1 目標35153 実績33988 達成率96.7% 高齢者が主な利用者層のため、新型コロナウイルスの5類感染症への移行後についても移動需要が回復せず、コロナ前と比較し利用者が低迷している。	18.8	12.8	1.3	9.9	13.0	13.7	本路線のみにより市町村を跨ぐ移動を行う利用者は全体の7%程度である。しかし、本路線は日進市西部と名古屋市内地下鉄鶴舞線平針駅及び赤池駅を結ぶ路線であり、多数の利用者が鉄道を利用した市町村を跨ぐ移動を行っている。 市域を超えた移動を支える非常に重要な路線である。日進市民の赤池駅への移動手段のほか、東名古屋病院への通院利用があると考えられる。 ・公共交通会議内に設置する検討部会や地域での意見交換会等を通じ検討してきた路線改正案をもとに、路線の改正を実施 ・朝夕便、昼間便の設定等、時間帯による異なる移動需要への対応 ・収支率の目標：14.69%（1%改善） ・交通エコライフの取組促進	・公共交通会議内に設置する検討部会や地域での意見交換会等を通じ検討してきた路線改正案をもとに、路線の改正を実施 ・朝夕便、昼間便の設定等、時間帯による異なる移動需要への対応 ・収支率の目標：15.48%（1%改善） ・OD調査や市民ワークショップの結果分析により移動ニーズを把握し、市及び公共交通事業者と連携し路線構築化を図る ・市主催のイベント等で周知
05瀬戸・日進・豊明	尾張旭市	豊栄交通(株)	52 尾張旭市営バス(東ルート)	市役所 ～ イトーヨーカドー前 ～ 市役所	・利用者懇談会、利用者アンケートを実施 ・瀬戸市コミュニティバスからあさび号への乗り継ぎ調査を実施 ・「危険なバス停」となっていたバロー瀬戸西店バス停を尾張旭市と協議し、移設 ・市民ワークショップを実施	A 計画通りに運行されている。	A 目標103000 実績109274 達成率106.1% ウィズコロナの生活様式の定着、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に移行したことなどにより、外出機会が増加したため	64.9	69.4	4.6	15.1	14.8	16.8	市を跨いで利用が全体の7.7%を占め、広域的な路線の役割を果たしている。 愛知大及びバロー瀬戸西店バス停にてあさび号へ乗り継ぐことができ、商業施設や名鉄瀬戸線三郷駅周辺への足となっている。愛知大停留所は総合病院への通院利用に加え、バスロータリーが併設されており、隣接市のコミュニティバスや名鉄バスの乗り換えの拠点としても多く利用されている。 ・利用者ニーズに沿った運行計画の再編を検討 ・市イベント等で周知を行うなど、利用促進を継続 ・乗り継ぎニーズを高めるため、近隣自治体との情報共有、路線の魅力発信 ・OD調査や、市民ワークショップの結果分析により移動ニーズを把握し、市及び公共交通事業者と連携し路線構築化を図る	・利用者ニーズに沿った運行計画の再編を検討 ・市イベント等で周知 ・交通エコライフの取組促進を継続 ・OD調査や、市民ワークショップの結果分析により移動ニーズを把握し、市及び公共交通事業者と連携し路線構築化を図る

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況					⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点（特記事項を含む）			
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	輸送量(人)			収支率(%)					
								R5計画	R5実績	平均乗車密度	運行回数			R4実績	R5実績	
05瀬戸・日進・豊明	東郷町	瀬戸自動車運送(株)	64 じゅんかい君(北コース)	ららばーと愛知東郷 ～ 日進 ～ ららばーと愛知東郷	A	補助対象期間の開始日から、運休もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A	目標111531 実績121411 達成率108.9%	28.9	40.1	1.8	22.3	10.7	11.1	市町を跨いでの利用が利用者の26.1%を占め、広域的な路線の役割を果たしている。日進駅に接続することにより、通勤・通学利用の他、日進市を含め町外から東郷町内への買い物需要や、東郷町内から町外への移動需要に対応しており、町を跨ぐ広域移動を確保する重要な路線である。	・大型商業施設と連携したバス利用促進イベントの実施 ・他市町広域最速駅、HP、SNS等の町外への広報の実施 ・市役所窓口での路線図・時刻表の配布 ・市HP等での市内巡回バスと当該系統との乗継による移動事例の紹介
06東海・半田・大府・常滑・美浜	知多乗合(株)	知多乗合(株)	38 半田・常滑(A)	知多半田駅 ～ 青山駅前 ～ 常滑駅	A	事業計画どおり運行回数が確保されている。	A	目標50000 実績78160 達成率156.3%	15.2	30.3	4.6	6.6	28.2	50.0	市境をまたぐ利用がおよそ3割弱を占め、広域的な路線の役割を果たしている。知多半田駅及び常滑駅において鉄道線へ乗り換えるケースが見受けられる。沿線の学校への通学の足としても機能している。常滑駅や知多半田駅において、コミュニティバスに乗り継ぐことにより、地域内の病院や店舗、スーパーなどへの移動手段として地域住民の日常生活における移動手段として利用されている。	・利用しやすいダイヤ設定と周知 ・期間限定で夜間追加便運行キャンペーンを実施 ・鉄道やコミュニティバス等との乗り継ぎが可能となるようダイヤの改善や他事業者との調整
06東海・半田・大府・常滑・美浜	知多乗合(株)	知多乗合(株)	39 半田・常滑(D)	知多半田駅 ～ りんくう常滑駅 ～ 旅客ターミナルビル	A	事業計画どおり運行回数が確保されている。	A	目標105000 実績133840 達成率127.5%	20.3	6.8	1.0	7.0	30.5	10.0	市境をまたぐ利用がおよそ5割弱を占め、広域的な路線の役割を果たしている。知多半田駅及び常滑駅において鉄道線へ乗り換えるケースが見受けられ、通勤や通学、空港への移動に利用されている。半田市と常滑市を結ぶ系統で、鉄道駅を利用する通勤通学者の他、沿線の学校への通学の足としても機能している。また、空港への通勤や観光目的で利用されている。	・利用しやすいダイヤ設定とその周知 ・半田市官民合わせた情報発信 ・利用需要調査、路線周知を目的に、期間限定で夜間追加便運行キャンペーンを実施 ・常滑市鉄道やバスの相乗効果により公共交通全体の利便性を向上 ・鉄道やコミュニティバス等との乗り継ぎが可能となるようダイヤの改善や他事業者との調整
06東海・半田・大府・常滑・美浜	知多乗合(株)	知多乗合(株)	40 半田・常滑(N)	日本福祉大学 ～ 知多半田駅 ～ 常滑市民病院	A	事業計画どおり運行回数が確保されている。	B2	目標85000 実績59323 達成率69.8%	23.0	18.3	5.1	3.6	57.7	40.0	市境をまたぐ利用がおよそ2割を占め、広域的な路線の役割を果たしている。知多半田駅及び常滑駅において鉄道線へ乗り換えるケースが見受けられ通勤や通学に利用しているほか、日本福祉大学学生が通学のために利用している。半田市と常滑市を結ぶ系統で、鉄道駅を利用する通勤通学者の他、沿線の学校への通学の足としても機能している。常滑駅や知多半田駅において、コミュニティバスに乗り継ぐことにより、地域内の病院や店舗、スーパーなどへの移動手段として地域住民の日常生活における移動手段を確保するために必要。	・利用しやすいダイヤ設定と周知 ・官民合わせた情報発信 ・期間限定で夜間追加便運行キャンペーンを実施 ・鉄道やコミュニティバス等との乗り継ぎが可能となるようダイヤの改善や他事業者との調整
06東海・半田・大府・常滑・美浜	知多乗合(株)	知多乗合(株)	41 師崎	河和駅・師崎港	A	事業計画どおり運行回数が確保されている。	B2	目標90100 実績52478 達成率58.2%	31.8	26.9	2.3	11.7	22.3	20.0	町境をまたぐ利用がおよそ7割にのぼり、広域的な路線の役割を果たしている。町境を超えての河和駅や病院の利用者が多いと考えられる。	・2023年9月末をもって、農線
06東海・半田・大府・常滑・美浜	知多乗合(株)	知多乗合(株)	42 横須賀(A)	大府駅前 ～ 尾張横須賀駅	A	事業計画どおり運行回数が確保されている。	B2	目標78592 実績58534 達成率74.5%	49.6	34.7	3.7	9.4	47.0	50.0	市境をまたぐ利用がおよそ5割弱にのぼり、広域的な路線の役割を果たしている。前年度と比べると、月の利用者数が1,000人程度減少しているものの、東海市と大府市を繋ぐ重要な基幹路線であり、高等学校近くに停留所があることで通勤・通学利用も多い。所轄の警署まで行く手段でもある。	・利用しやすいダイヤ設定とその周知 ・東海市循環バスダイヤ改正(令和6年度)に向けて、路線バスとの相互利用が可能なダイヤを検討 ・大府市横須賀(A)線のPR活動を継続 ・路線バスにおける利用者増加策を三者で模索

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況					⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点（特記事項を含む）		
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	輸送量(人)			収支率(%)				
								R5計画	R5実績	平均乗車密度	運行回数			R4実績	R5実績
06東海・半田・大府・常滑・美浜	知多市	知多乗合(株)	43 あいあいバス (北部循環コース)	朝倉駅 ～ 朝倉駅 (循環)	<ul style="list-style-type: none"> バスロケーションシステムについて、バスマップにアクセス用QRコードを搭載 バスロケーションシステムの周知 高齢者を対象としたバスロケーションシステム講習会を継続 	A 計画どおり運行した。	A 目標52000 実績61659 達成率118.6% 令和2年の路線再編により、路線の利便性が向上し、利用者の増加につながったため。	20.5	25.4	2.6	9.8	6.4	6.3	<p>東海市にある公立西多総合病院と、阿久比町にあるカネスエ阿久比店の利用が多い。本市東部地区の住民は、隣接する東海市や阿久比町に生活圏があることから、通院、買い物など日常生活の移動手段として利用されている。東海市乗り継げるバス停が増えたことで、相互利用による住民の往来が増えている。阿久比町の循環バスとの乗継に利用されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> バスロケーションシステムの積極的なPR システムを活用した利用実態の把握 バスの乗り方教室の開催等、バスの利用方法の啓発 東海市循環バスダイヤ改正（令和6年度予定）に向けて、あいあいバスとの相互利用可能なダイヤを引き続き検討 阿久比町・町役場において時刻表を配架
武豊町	知多乗合(株)	63 ゆめころん (赤ルート)	武豊町役場 ～ イオン半田店 ～ 武豊町役場	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者を対象とした無料乗車券発行事業及び回数券発行事業を継続実施 新型コロナウイルス感染症の第5類移行までの間、「車内会話を抑える・マスク着用」の車内掲示による呼びかけを実施 利用者の満足度や要望等を確認するため、利用者アンケートを実施 町広報紙面を活用した「コミュニティバス（不定期）により、情報発信 新たに作成した時刻表に、周辺の電車・バスの路線図掲載し、全戸配布 町内保育園児による「みそたらうコミュニティバス乗車イラスト」のめり絵を車内掲示 イベントを活用した相互情報発信 高齢者運転免許自主返納促進事業の実施 バスロケーションシステムの継続実施 無料乗車券キャンペーンの実施 	A 補助対象期間の開始日から、天候等による影響以外での運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A 目標43000 実績50361 達成率117.1% 無料乗車券交付事業等の継続実施や令和4年10月常滑市コミュニティバスグループの運行開始、名鉄知多武豊駅への乗り入れによる接続、新たに作成の時刻表全戸配布にて情報発信等の取組により利用者が増加したため	16.7	53.6	6.1	9.0	37.7	23.2	<p>半田市の大型商業施設と名鉄青山駅に接続する停留所を設けたことで、行政機を意識することなく移動できる広域的な交通網が形成されている。路線全体の利用者の2割以上が半田市への乗り入れを行っている。令和4年10月から令和5年9月の期間において、上記2ヶ所の停留所の合計乗降者数は、対前年同期比3,004人増となり、利用者の増加・定着につながっている。青山駅に屋根付きバス停を設置し環境整備を図ったこと、乗り入れを行うバス路線を設置したこと、利用者の定着に寄与している。今後も広域的な交通網としての確保維持が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 無料乗車券等の利用促進事業実施 町広報紙面を活用した「コミュニティバス（不定期）」による情報発信 運転免許証の自主返納の呼び掛け 公共交通を活用する生活スタイルへの転換の呼びかけ 無料対象者以外の層（若年層）に対するコミュニティバス利用の呼びかけ 時刻表の配布継続 接続する広域的な交通ネットワークの情報発信 地域公共交通計画（令和4年4月策定）に基づく事業の適切な実施 安全利用及び感染症対策を目的にコミュニティバス車内の抗菌・抗ウイルスコーティングを実施 停留所の新設、経路変更を検討 	
															07小牧・犬山・江南
07小牧・犬山・江南	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	9 岩倉（小牧駅） 【R5.3.31まで】	岩倉駅 ～ 小牧市役所前 ～ 小牧駅	<ul style="list-style-type: none"> HP、CentXなどのスマートフォンでの時刻検索システム提供 バスロケーションシステムの提供 コンテンツプロバイダへのデータ提供 小牧市路線図、時刻表の配布やHPへの掲載 市内事業所へのチラシ配布 イベントでの啓発活動 	A 所定の確保計画どおりの運行が実施されている。	B2 目標134699 実績80439 達成率59.7% 補助対象期間が半年間であったため。	73.0	93.8	6.3	14.9	90.5	92.3	<p>両市域を跨ぐ利用者の内訳は、通勤定期25.7%、通学定期1.5%、ゴート・シルバーバスを利用する高齢者2.7%、現金、ICSFの定期外70.1%。大半が通勤利用者であり、工場地帯、市役所などの利用であると考えられる。小牧市内と岩倉駅を結ぶアクセス手段として利用していると考えられる。</p>	

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況					⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点（特記事項を含む）			
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】		輸送量(人)					収支率(%)		
							A：達成	B：未達成	C：目標の半数にも満たず	R5計画	R5実績			平均乗車密度	運行回数	R4実績
09刈谷・安城・碧南・西尾	安城市	名鉄バス(株)	21	あんくるバス(作野線)	新安城駅南口 ～ 三河安城駅中央口経由 ～ 新安城駅南口	A	A	目標51500 実績5979 達成率116.5%	42.0	52.4	7.6	6.9	22.4	24.3	東刈谷駅バスの乗車数は269人/月であり、この人数が安城市と刈谷市を跨ぐ利用者数であると考えられるため、広域的な路線として役割を果たしていると考えられる。これらの利用者は通勤、通学や安城更生病院、刈谷豊田総合病院への通院、市外への買い物などの利用者が多いと考えられる。東刈谷駅の周辺に在住の住民が、三河安城駅への移動手段として利用していることが想定される。	・バスロケーションシステムによる運行状況(遅れ等)の把握・分析・改善 ・観光施策等と連携した利用促進策を実施 ・まちなか講座や船鑑を通じ、知識の向上や課題の抽出・共有による公共交通に対する意識醸成 ・安城市への利用実態を把握し、実態に即した路線改編等の検討
09刈谷・安城・碧南・西尾 10豊田	知立市	名鉄バス(株)	22	ミニバス(2コース)	知立駅 ～ 三河八橋駅 ～ 知立駅	A	A	目標31683 実績32108 達成率101.3%	17.8	17.8	2.0	8.9	11.3	11.5	補助対象期間の開始日から令和5年9月末日までの利用者のうち、三河八橋駅バスの利用者は148人/月と推定され、昨年度から31人/月増加。2コースの停留所のうち、三河八橋駅は前年度から最も利用者が増え、名鉄三河線を利用し豊田市方面への通勤、通学、買い物等の利用があり、多く広域的な路線としての役割を果たしている。市町村を跨いで利用者は5.5%を占めており、豊田市から知立市への通勤・通学等の手段として一定の役割を果たしている。	・子供向けイベントにてバスの乗車体験を行い、子育て世代の認知度を向上 ・広報・HP、公式LINEアカウントを活用し、最新情報を提供 ・車内デジタルサイネージ広告による自主財源確保も含め、収支率の目標をコロナ前年の収支率15.74%以上とする ・運行等により課題となる部分については、適宜公共交通会議等で検討 ・豊田市バスマップに引き続き当該路線情報を掲載
09刈谷・安城・碧南・西尾	知立市	名鉄バス(株)	23	ミニバス(3コース)	知立駅 ～ 東刈谷駅 ～ 知立駅	A	A	目標58835 実績69574 達成率118.3%	51.9	60.4	5.7	10.6	22.6	24.9	補助対象期間の開始日から令和5年9月末日までの利用者のうち、東刈谷駅北口バス停からの利用者は、775人/月と推定され、昨年度より33人/月増加。JR東海東線を利用した通勤・通学や、刈谷市公共バスを利用した総合病院への通院への利用で広域的な路線としての役割を果たしていると考えられる。東刈谷駅周辺住民が商業施設や名鉄知立駅への移動手段として、ミニバスを活用していることが考えられる。	・子供向けイベントにてバスの乗車体験を行い、子育て世代の認知度を向上 ・広報HP、公式LINEアカウントを活用し、最新情報を提供 ・車内デジタルサイネージ広告による自主財源確保も含め、収支率の目標をコロナ前年の収支率30.06%以上とする ・運行等により課題となる部分については、適宜公共交通会議等で検討 ・利用実態に即した路線改編等の検討 ・隣接市町との連携を強化し、広域的ネットワークを維持・充実するための施策を検討
09刈谷・安城・碧南・西尾	知立市	名鉄バス(株)	24	ミニバス(4コース)	知立駅 ～ 野田新町駅 ～ 知立駅	A	A	目標28725 実績29937 達成率104.2%	19.6	20.5	2.1	9.8	10.7	11.2	補助対象期間の開始日から令和5年9月末日までの利用者のうち、野田新町北口バス停からの利用者は251人/月と推定される。また、JR東海東線を利用した通勤・通学や、刈谷市公共バスを利用した総合病院への通院への利用で広域的な路線としての役割を果たしていると考えられる。刈谷市の野田新町駅周辺住民が商業施設や名鉄知立駅への移動手段として、ミニバスを活用していることが考えられる。	・子供向けイベントにてバスの乗車体験を行い、子育て世代の認知度を向上 ・広報・HP、公式LINEアカウントを活用し、最新情報を提供 ・車内デジタルサイネージ広告による自主財源確保も含め、収支率の目標をコロナ前年の収支率14.40%以上とする ・運行等により課題となる部分については、適宜公共交通会議等で検討 ・利用実態に即した路線改編等の検討 ・隣接市町との連携を強化し、広域的ネットワークを維持・充実するための施策について検討
09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄東部交通(株)	名鉄東部交通(株)	46	一色	西尾(西尾市民病院) ～ 福地 ～ 一色町公民館	A	A	目標71469 実績109615 達成率153.4%	22.8	45.7	4.4	10.3	87.9	107.5	一色地区と西尾市中心部を結ぶ路線であり、地域住民の日常生活における交通手段を確保している。通勤通学や日中の通院のほか、西尾駅で鉄道から乗り換え久島へ向かう観光客など、一色地区と西尾市中心部を跨る利用が多く見られる。	・利用者の利便が向上する運行に努める ・いこいの農園への路線延長 ・さかな広場の増便 ・道路状況の把握に努め、定時運行確保
10豊田	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	3	矢並	豊田市 ～ 矢並公民館前 ～ 足助	A	A	目標110524 実績119966 達成率108.6%	39.4	36.3	4.6	11.7	41.4	43.4	両地区を跨ぐ利用者の内訳は、通勤定期15.6%、通学定期31.3%、ゴールド・シルバーバスを利用する高齢者4.7%、現金・ICSFの定期外48.4%。定期外の比率が高い。路線自体の利用者数は増加したが、市町村を跨ぐ利用者は減少しており、豊田市内での利用者が大部分と考えられる。豊田市中心部から足助地区への通学利用者や秋の香嵐渓シーズンには観光目的の利用が多くある。豊田市内外と豊田市中心部を繋ぐ、通勤・通学・買い物等の手段として、重要な役割を果たしている。	・HP、スマートフォンでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券ゴールド・シルバーバスのPR ・豊田市バスマップ、みちなかよびなどに引き続き当該路線の情報を掲載 ・沿線の観光資源と連携した利用促進策の検討

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況					⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点（特記事項を含む）				
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	輸送量(人)						収支率(%)			
								R5計画	R5実績	平均乗車密度	運行回数			R4実績	R5実績		
10豊田	豊田市	名鉄バス(株)	17	おいでんバス(旭・豊田線)	小渡～広瀬～豊田市	・交通系共通ICカードのODデータ取得による利用実態の把握 ・沿線“やな”での飲み物サービス ・産業フェスタをはじめとする各種イベントへの参加	A	雨量規制による通行止め及び、台風7号の影響により14本の運休があったが、それ以外については、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A	目標74487 実績85971 達成率115.4%	26.1	29.4	2.7	10.9	17.9	18.9	市町村(合併以前)を跨いでの利用者は1/10程度にとどまったものの、一定割合で市外から市中心部への通勤・通学手段として利用されている。 ・沿線“やな”での飲み物サービスの実施 ・一日乗車券の導入検討 ・子ども世代や子育て世帯をターゲットとした各種イベントと連携した利用促進策の検討
10豊田	豊田市	名鉄バス(株)	18	おいでんバス(小原・豊田線)	上仁木～西中山～豊田市	・交通系共通ICカードのODデータ取得による利用実態の把握 ・産業フェスタをはじめとする各種イベントへの参加 ・四郷地区区画整理及び国道419号線の改良に対応した路線・新設バス停の検討	A	雨量規制による通行止め及び、台風7号の影響により14本の運休があったが、それ以外については、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A	目標149228 実績167894 達成率112.5%	59.1	62.7	5.6	11.2	33.5	35.4	市町村(合併以前)を跨いでの利用者は全体の1割以下にとどまっているものの、一定割合で市外から市中心部への通勤・通学手段として利用されている。 ・小原四季祭などの観光資源と連携した利用促進策を検討 ・高齢者定期券の販売促進 ・一日乗車券の導入検討 ・子ども世代や子育て世帯をターゲットとした各種イベントと連携した利用促進策の検討
10豊田	豊田市	名鉄バス(株)	19	おいでんバス(藤岡・豊田線)(西中山経由)	藤岡中学校前～豊田市	・交通系共通ICカードのODデータ取得による利用実態の把握 ・産業フェスタをはじめとする各種イベントへの参加 ・四郷地区区画整理及び国道419号線の改良に対応した路線・新設バス停の検討	A	雨量規制による通行止め及び、台風7号の影響により7本の運休があったが、それ以外については、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A	目標92580 実績105365 達成率113.8%	39.5	45.6	6.0	7.6	45.4	47.1	市町村(合併以前)を跨いでの利用者は、昨年度とほとんど変わらず約7割と高い割合を保っている。このことから市外から市中心部への通勤・通学手段として重要な役割を果たしている。 ・高齢者定期券の販売促進 ・一日乗車券の導入検討 ・子ども世代や子育て世帯をターゲットとした各種イベントと連携した利用促進策の検討
10豊田	豊田市	豊栄交通(株)	49	おいでんバス(藤岡・豊田線)(加納経由)	藤岡支所～豊田市	・交通系共通ICカードのODデータ取得による利用実態の把握 ・産業フェスタをはじめとする各種イベントへの参加	A	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A	目標80288 実績94704 達成率118.0%	35.0	42.9	3.8	11.3	31.4	34.9	市町村(合併以前)を跨いでの利用者は全体の4割を超え、市外から市中心部への通勤・通学手段として利用されている。また、昼間時においても、市外から市中心部への利用が一定数みられ、生活交通として重要な役割を果たしている。 ・地域医療センター・狼投神社・狼投山の登山口などの沿線施設や観光資源と連携した利用促進策を検討 ・高齢者定期券の販売促進 ・一日乗車券の導入検討 ・子ども世代や子育て世帯をターゲットとした各種イベントと連携した利用促進策の実施を検討
10豊田	豊田市	豊栄交通(株)	50	おいでんバス(下山・豊田線)	大沼～鶯ヶ瀬～豊田市	・交通系共通ICカードのODデータ取得による利用実態の把握 ・利用実態に合わせたダイヤ改正の検討 ・産業フェスタをはじめとする各種イベントへの参加	A	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A	目標118390 実績144978 達成率122.5%	61.4	73.0	6.3	11.6	54.8	53.7	市町村(合併以前)を跨いでの利用者は、全体の4分の1程度であり、中山間地域から市中心部への通勤・通学手段として重要な役割を果たしている。 ・休日や昼間の利用者増加に繋がる、1日乗車券販売の実施検討 ・松平地区及び下山区のイベントに合わせて、バス利用者増進に向けて、周知活動や利用促進策の検討 ・子ども世代や子育て世帯をターゲットとした各種イベントと連携した利用促進策の実施検討
10豊田	豊田市	豊栄交通(株)	51	おいでんバス(さなげ・足助線)	豊田厚生病院～百年草	・交通系共通ICカードのODデータ取得による利用実態の把握 ・利用実態に合わせたダイヤ改正の検討 ・産業フェスタをはじめとする各種イベント参加 ・広瀬やなでのドリンクサービス	A	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A	目標143258 実績170471 達成率119.0%	57.0	64.8	4.0	16.2	34.6	35.6	市町村(合併以前)を跨いでの利用者の割合が全体の3割を超え、中山間地域からの通勤・通学手段以外にも、鉄道駅と観光地を結ぶ路線として、重要な役割を果たしている。 ・高齢者定期券の販売促進 ・一日乗車券の導入検討 ・子ども世代や子育て世帯をターゲットとした各種イベントと連携した利用促進策の実施を検討

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況					⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点（特記事項を含む）	
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	輸送量(人)			収支率(%)			
								R5計画	R5実績	平均乗車密度	運行回数			R4実績
10豊田	みよし市	愛知っばめ交通(株)	58	さんさんバス (拠点連携線)	豊田厚生病院 ～ みよし市民病院	A	B1	54.4	56.1	4.1	16.0	10.9	15.7	市を跨いでの利用が利用者全体の約1割強を占め、みよし市内から、豊田厚生病院への通院及び浄水駅利用者が大部分と考えられる。また、隣接する浄水駅からみよし市内の商業施設等への利用も多く、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。 ・現行交通計画を改定し、市公共交通の現況に即した目標を定め、計画的に事業を実施 ・小中学校と連携し、乗り方教室等を実施し、マイバス意識の醸成を図る ・豊田市バスマップに当該路線情報を掲載
10豊田	みよし市	愛知っばめ交通(株)	59	さんさんバス (三好黒笹線)	黒笹駅 ～ イオン三好 アイ・モール	A	A	73.5	54.1	4.1	15.0	12.8	15.8	市を跨いでの利用が利用者全体の約1割強を占め、みよし市内から、豊田厚生病院への通院及び浄水駅利用者が大部分と考えられる。また、隣接する浄水駅からみよし市内の商業施設等への利用も多く、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。 ・現行交通計画を改定し、市公共交通の現況に即した目標を定め、計画的に事業を実施 ・市内小中学校と連携し、乗り方教室等を実施し、マイバス意識の醸成を図る ・豊田市バスマップに当該路線情報を掲載
09刈谷・安城・碧南・西尾 10豊田	豊田市	高岡ふれあいバス運行 共同企業体	60	高岡ふれあいバス (路線②)	上丘町 ～ 高岡公園 ～ 知立駅	A	A	31.6	36.7	2.5	14.4	24.6	26.8	市町村を跨いでの利用者が大半を占めるため、通勤・通学・買い物等への手段として重要な役割を果たしている。市町村を跨いでの利用者が91.8%と非常に高い割合となっていることから、生活上欠かせない市民の足として役割を果たしている。 ・利用目的・時間に応じた走行経路の検討 ・専門家への相談、地域住民へのアンケートや実証実験の実施 ・ミニバスとふれあいバスの乗り継ぎ等連携を継続 ・ミニバス・ふれあいバスを乗り継ぐモデルコースを作成
11新城	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	28	作手	新城富永 ～ 作手高里	A	B1	20.1	20.1	3.3	6.1	64.0	60.6	旧市町村を跨いでの利用が利用者のほぼすべてを占め、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。これらの利用者は、沿線学校への通学利用者や新城市民病院への通院や新城新街への鉄道利用者などが大部分と考えられる。 ・令和6年度末に導入予定の交通系ICカードのPR ・利用者との意見交換をはじめとしたニーズ調査 ・他路線への接続を考慮したダイヤ検討
11新城	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	29	新城病院上平井田口	新城市民病院 ～ 田口	A	B1	21.3	18.1	2.3	7.9	21.6	28.7	旧市町村を跨いでの利用が利用者の半数以上を占め、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。これらの利用者は、沿線学校への通学利用者や新城市民病院への通院や本長篠駅への鉄道利用者などが大部分と考えられるほか、JR本長篠駅での乗り継ぎによる豊川市方面の高校へ通学利用もある。 ・期間限定で田口新城線フリー乗車券のラインナップを拡充 ・令和6年度末に導入予定の交通系ICカードのPR ・自宅からバス停までをつなぐ移動手段の確保 ・東三河5市町村でのイベントでの公共交通のPR ・乗り継ぎ拠点となるバス停を整備 ・おでかけ北設の情報をオープンデータ化
01名古屋 05瀬戸・日進・豊明 11新城	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	37	新城名古屋藤が丘線	新城市民病院西 ～ 長久手古戦場駅	A	A	18.3	20.0	6.9	2.9	36.0	39.6	高速乗合バスとして新城市と名古屋及び長久手市を結ぶ路線で、すべての利用者が市を跨ぐ利用をしており広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、新城市から名古屋への通勤・通学や名古屋圏から新城市への観光で利用されている。新城市と名古屋及び長久手市を結ぶ路線で、通勤、通学、通院、買い物などの生活に必要不可欠な移動手段になっている。長久手古戦場駅停留所は、長久手市内を走行するリニモ長久手古戦場駅と隣接しているほか、伊設されたバスロータリーに隣接するコミュニティバスや、名鉄バスも乗り入れており、多くの利用がある。 ・東三河地域住民への周知を充実 ・令和6年度末に導入予定の交通系ICカードのPR ・交通系ICカードの取組継続 ・新城市のコミュニティバス（Sバス）の見直し時に、本路線と接続できるよう考慮し、乗り継ぎの利便性向上に取り組み ・藤が丘商店街との繋がりを生かし、名古屋圏のイベントでのPR継続 ・OD調査や、市民懇談会の情報からニーズを把握 ・市及び公共交通事業者と連携しながら最適な路線構築を図る ・市主催のイベント等で周知を行うなど利用促進を継続

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

協議会名：	愛知県地域公共交通協議会 バス対策部会
-------	---------------------

評価対象事業名：	陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統）
----------	--------------------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>鉄軌道網の整備が進み基幹的公共交通網は維持されているが、自動車分担率が高い地域であることを踏まえた上で、複数市町村を跨ぐ広域的・幹線的な公共交通網の維持・確保を図る。</p> <p>実施に当たっては、乗合バス事業者等運営主体と沿線市町村が協力して目標設定、利用促進、利便性・生産性向上検討を行い、事業評価にあたっては、運営主体、沿線市町村が情報交換、意見交換を行って、路線の状況を共有化。</p>
-----------------------------	---